

# 金山町芸術文化協会の取り組み

## ～中央公民館機能の移転・新型コロナウイルス感染症を経て～

金山町

### 1 はじめに

金山町芸術文化協会の活動は、ここ3年間新型コロナウイルスの流行により、活動が制限され、成果を披露する場を設けることができなかった。また、活動の拠点であった金山町中央公民館が老朽化により令和4年9月に、金山町農村環境改善センターに機能を移転するなど、活動環境も大きく変わってきた中で、町の芸術文化活動の下支えとなる活動を続けてきた。その中で、今年度の新たな試みや主な活動を中心に紹介していく。

### 2 事業のねらい

金山町芸術文化協会は、町内における地域伝統文化の発掘と創造、芸術活動の推進、構成団体の情報交換及び相互理解を深め、情操豊かな人間生活に寄与することを目的としている。

### 3 具体的な取り組み

#### ○金山町盆踊り大会

金山町盆踊り大会は、金山まつりの一環として毎年8月15日に開催している。町の風景や情緒が感じられる「金山小唄」と「花笠音頭」を披露している。



#### 《練習会》

日 時：令和5年7月24日（月）・31日（月） 午後7時～午後8時 全2回  
場 所：金山町中央公民館（農村環境改善センター）多目的ホール

加入団体である「藤乃会」「千川楽栄会」「らくえい踊りの会」を中心に、全2回の日程で練習会を実施した。町内の新聞折込みや小学校及び認定こども園にチラシを配布したことにより、金山小唄を踊ったことがない方の参加もあった。

#### 《当 日》

日 時：令和5年8月15日（火） 午後7時～午後7時30分  
場 所：金山町七日町通りフルーツほしかわ前（勝手にカラオケ大会会場前）

新型コロナウイルスの影響により、4年ぶりの開催となることから、七日町商店会と協力し、勝手にカラオケ大会の会場で行った。新たな試みとして、「金山小唄」

と「花笠音頭」を生歌で披露しながら踊った。飛び入り参加者も多くおり、50名を超える参加があった。

#### ○金山町芸術月間

毎年秋に開催している「金山町芸術月間」を、中央公民館機能移転後初めて、現中央公民館（農村環境改善センター）を会場に開催した。加盟18団体のうち、15団体が参加し、展示及び舞台発表を行った。



#### 《展示会等》

期 間：令和5年10月30日（月）～11月11日（土）

会 場：金山町中央公民館（農村環境改善センター） 玄関ロビー

写真、生け花、パッチワーク、俳句の展示を行った。また、11月3日には、「公民館大会」に併せて、茶道愛好会によるお抹茶の振舞いも行われ、来館者をもてなした。

#### 《舞台発表会》

日 時：令和5年11月11日（土） 午前10時30分～午後2時30分

場 所：金山町中央公民館（農村環境改善センター）多目的ホール

11団体が参加し、日頃練習してきた歌や踊りの成果を披露した。オープニングでは、番楽も行われ、終演は出演者全員で「金山小唄」を踊り大盛況に終わった。

## 4 成果と課題

### 《成果》

- ・盆踊り大会をきっかけに「金山小唄」を普及する活動を進めることができた。
- ・舞台発表について、中央公民館大会機能移転後の初めての会場であったが、会員自主的に舞台及び観客席を設営することができた。
- ・コロナ禍以前と同様の活動を行うことができた。参加者数も以前と同様になった。

### 《課題》

- ・舞台発表会を見に来る方は高齢の方が多く、若年層が少ない。
- ・伝統芸能団体の参加が少ない。
- ・旧中央公民館の会場とは違い、専用の舞台及び会場でないことから、今後の開催における発表会の場をどうするかが課題である。

## 5 終わりに

中央公民館機能移転や新型コロナウイルスなど、変化の多い時期であったが、今年度よりコロナ禍前と変わらない活動が行えた。来年度は、町制施行100周年記念の年でもあるため、町の芸術文化活動をより一層広めるような活動を続けていきたい。

# カムロトレイルランニング2023

## ～とこみどりCUP～

金山町

### 1 はじめに

金山町では、総合型地域スポーツクラブである「金山健康ふれあいスポーツクラブ」が主催者となり、誰もが参加できるスポーツコミュニティの醸成を図りながら、生涯スポーツの振興を通して、青少年の健全育成と健康で活力に満ちた地域社会の形成に寄与することを目的として、「とこみどりマラソン大会」を開催してきた。

これまでに通算47回開催し、最上管内のスポーツ少年団員を中心にたくさんの参加をいただいて実施してきたところだが、児童生徒の減少やコロナ禍での運営の在り方など課題も多く、新たな開催形態について検討を重ね、令和5年度からは「カムロトレイルランニング大会」を主催する実行委員会と併催して、全国規模での大会運営を行っている。



### 2 事業について

#### (1) 目的

「カムロトレイルランニング大会」は今年度で第5回目の開催となる。2022年トレイルランニング世界選手権日本代表選手であり、金山町出身である須賀暁氏が大会プロデュースを行っている。子どもから大人までが楽しめる大会を目指し、勝ち負けだけではなくトレイルランニングの魅力を多くの方に感じていただけるような内容で開催している。

#### (2) 大会概要

山形県金山町グリーンバレー神室スキー場を会場に、神室山系をコースとしたトレイルランニング大会（ロング37km、ミドル31km、ショート7km、中高一般3km、ファミリー小学生1～2km）となる。参加者は東北を中心として、全国から総勢450名であった。これまで開催してきた「とこみどりマラソン大会」の代替として、小中高校生部門への参加者の内、金山町在住者の中から上位者に対してとこみどり表彰を授与している。



### 3 成果と課題・これからの展望

- 町内からはスポーツ少年団員を中心に総勢95名の参加があった。
- グリーンバレー神室一帯をコースとして設定したことで、金山町の自然を堪能していただけた。
- トレイルランニングの楽しさを感じていただき、通年でスポーツを楽しんでもらえるスポーツコミュニティを醸成できた。
- ありのままの自然がコースとなることから、天候による安全対策など臨機応変な対応が必要となる。
- 今年度の開催はコロナ禍の影響により、想定よりも参加者が少なかったが、次回開催時には参加者増を見込み、他イベントと併催して出店を増やすなど、参加者に対する金山町のPRとおもてなしを強化したいと考えている。

### 4 終わりに

令和5年度開催については、コロナ禍の影響が少なからずあったことから、目標とする参加者数に満たなかった現状にあるが、今後は周知に力を入れるとともに、コースの距離や内容などの充実を図りたいと考えている。

なによりも、この大会を通して、子どもたちが大自然を駆け抜ける楽しさを感じ、郷土の素晴らしさに気づく機会となることを目指すとともに、金山町の観光振興にも一役となることを期待している。

参加いただくみなさんが、怪我無く安全に楽しんでいただけることを目指し、今後も実行委員会との連携を図りながら大会運営に取り組んでいきたい。

